

会議録議事(要旨)

1 会議名	第2回長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	平成23年12月5日(月曜日)午後2時から
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡 301会議室
4 出席者名	本多委員、松本委員、柏木委員代理、木村委員、小林(正)委員、 小林(守)委員、昆委員代理、佐藤委員代理、鈴木(久)委員、 鈴木(義)委員代理、土田委員、中野委員、長谷川委員、藤井委員、 松川委員、五十嵐委員
5 欠席委員	大橋委員
6 議題	(1)和島乗合タクシーの運行について (2)寺泊地域への夜間の路線バス増便について (3)小国地域の生活交通について (4)南循環バスの運行改善について (5)長岡市地域公共交通協議会の規約改正について
7 審議結果の概要	・議題(1)～(5)について承認された
8 審議の内容	
【議事】	議事(1)和島乗合タクシーの運行について 議事(2)寺泊地域への夜間路線バスの増便について
事務局	資料1「平成23年度 協議会の取り組み」 1. 和島地域・寺泊地域の増便 資料2「和島乗合タクシーに関するアンケート調査・日常の移動に関するアンケート調査」 資料3「寺泊地域 夜間の路線バスに関する利用者アンケート」 上記資料に基づき、事務局が説明。
会長	今回の社会実験を実施するに当たり、社会実験前及び社会実験開始後において、住民へどのように周知を図ったか教えてください。
事務局	和島地域については、10月3日から運行していますが、9月に市政だよりと支所だよりでお知らせしました。また、全戸に「乗合タクシー社会実験実施のお知らせ」という運行時間等を示したリーフレットを配布しています。 実施後は、市職員が和島地域と与板地域で乗継の可能性があるバス停においてバス利用者にリーフレットを配布しながら声掛けをしてピーアールを行って

	<p>います。</p> <p>寺泊地域については、市政だよりと支所だよりに運行のお知らせを掲載して周知を図っています。</p>
委員	<p>与板地域では火曜日と水曜日の利用者が少なく、寺泊地域では火曜日の利用が少ないという結果ですが、これは運行しているバスの時刻が利用者のニーズに合っていない、また運行便数が少ないので利用者が少ないという理解でよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>和島地域の乗合タクシーについては、朝と夜の運行になりますので、通院目的の方の利用には馴染まない時間帯です。資料にありますように利用者のほとんどが学生であり、部活や塾等の課外活動によりその日の利用者数が左右されていると考えます。</p> <p>寺泊地域の運行についても、週末に若干の社会人の方の利用が見られますが、利用者の多くは学生という状況です。現在社会実験として運行している便が無いという前提で生活パターンができていたため、直ちにその生活パターンを変えることは難しいということも考えられます。</p> <p>来年4月以降、利用者数がどのように変わるか気になる点ではございますが、和島地域では利用の無い便があることから、その点については運行内容を検討する必要があると考えています。</p>
委員	<p>アンケートの実施方法はどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>和島地域については全戸に配布します。1戸あたり2通配布し、多く外出される方から優先的にご意見をいただこうと考えております。</p> <p>寺泊地域につきましては、ピーアールも兼ねまして利用者の方を対象に、夕方からの便に直接乗って、寺泊に向かう方に配布し、改善内容等についてご意見をいただこうと考えています。</p>
委員	<p>先程、利用者のほとんどが学生であるという報告がありましたが、社会実験のターゲットを学生としていたのか、それならば地域内の長岡に通う学生の人数や冬期に下宿をしている学生の数など、ベースとなるバックデータの調査は実施されていたのか教えてください。</p> <p>また、利用状況から見て通勤の利用が期待できないのであれば、アンケートの調査内容について通学生に特化した改善内容を聞くようにした方が、今後検討する上で効果的な資料になると思います。</p>
事務局	<p>まず、運行の時間帯については、学生だけでなく通勤者もターゲットと考えていました。現状、帰りの終バスは17時台ですが、社会人や学生においても早</p>

	<p>すぎるという考えから、19時台を運行しているものです。</p> <p>通学生のバックデータは、数字的なものは把握できると思いますが、当初は通勤・通学をターゲットとして始めたものです。</p> <p>乗合タクシーは、主に長岡駅方面に向かうバスに接続させるよう運行しています。向陵高校に通う学生は、小島谷駅前始発のバスを利用し、与板発の一つ早い関原経由のバスを利用しています。1～2分の差でこのバスにも接続可能ですが、時間的に厳しいことや、仲間と一緒に通いたいなどの理由から、乗合タクシーへの転換が図られないなどの実態があります。</p>
<p>会長</p>	<p>私から補足させていただきますと、長岡に向かう高校生の数が30名程います。その中には向陵高校の生徒もいますので、必ずしも長岡駅に向かう路線を使う必要がないという実態があります。</p> <p>長岡駅までいっても、学校によっては駅からバスを乗り継いで高校に向かう必要がある人もいるため、6時35分の便に乗車しないと特に冬期の混雑時等は心配だという方が結構いらっしゃいます。6時35分の次の便は8時50分であり、その中間を狙っての運行を実施したところですが、6時台と8時台の便から思うように利用の転換が図られていない状況です。</p>
<p>会長</p>	<p>実験中で難しいかと思いますが、今回の実験について新しい需要を喚起したという評価になるのか、今まで利用されていた人が便を乗換えたという評価になるのか、また、和島と寺泊で評価が違えば、見込みを含めて現時点での社会実験の評価について説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>利用の多くが学生であったということから新規の需要を喚起したという評価には繋がりにくいと思いますが、利用の時間帯が増えたことから、利便性が向上したものと考えられます。寺泊の便については週末若干の利用の増加が見られます。年度途中ということで、車で通勤していた人が新たに定期券を購入して転換するといことは難しいと考えられます。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは社会実験の実施状況については説明があったとおりであり、アンケートについても説明のあったように実施してよろしいでしょうか。 (議事(1)、議事(2)について事務局の内容で承認を得る)</p>
<p>【議事】</p>	<p>議事(3) 小国地域の生活交通について</p> <p>資料1「平成23年度 協議会の取り組み」</p> <p>2. 小国地域(公共交通空白地域)の生活交通 上記資料に基づき、事務局が説明。</p>

事務局	<p>補足と致しまして、地元説明会を9月3日から10月7日まで、各集落14会場で実施しました。主な質問やご意見としましては、利用方法についてのご意見、なぜ登録が必要なのかというご質問、有償化について気兼ねしなくてすむという意見や負担が増えると心配されているご意見、運行時刻を通院の行き帰りに合わせてほしい、運行経路を一部見直してほしいなどの意見がございました。運行時刻や運行経路などできるだけいただいたご意見を反映できるよう見直しを行っています。</p> <p>運行経路については、小千谷警察から事前に確認していただき問題ないということで、地域分科会において調整済みでございます。</p>
会長	<p>こちらの運行は合併前の小国町当時から無料運行されていたものを有償にして運行するものです。来年1月から運行に向けた手続きを進めるとともに、運行に必要な車両の購入等の準備や地域住民への周知を図るパンフレットを作成し配布していきたいということですが、ご了承いただけますでしょうか。</p> <p>(議事(3)について事務局からの内容で承認を得る)</p>
【議事】	<p>議事(4)南循環バスの運行改善について</p> <p>資料1「平成23年度 協議会の取り組み」 3. 南循環バスの運行改善 上記資料に基づき、事務局が説明。</p>
委員	<p>アンケートの利用状況を見ると駅周辺の利用が多いということは、市民の中で長岡駅周辺が長岡の中心だと意識されていると捉える事ができると思います。結果として、市が進めている中心市街地の事業については市民の中で理解が足りているような気がします。</p> <p>運行ルートの改善の中で、「現状のまま」「駅の南と東で分ける」「折り返して運行する」という案がありますが、運行ルートの改善を行うことで1500万円の赤字がどのように削減できるのか教えてください。</p>
事務局	<p>運行ルートの仕方によっては、経費が逆に増える場合があると考えています。南循環線は、当初長岡駅から健康センターや長岡市役所、南部体育館、市民体育館、図書館、中央病院などの各公共施設を結ぶ路線として運行を開始しました。運行開始後に中央病院が郊外に移転したことから、利用者が減少した経緯がございます。そこで平成21年度から中央病院まで延伸してバスを運行しているところでございます。</p>

	<p>見直し案の中で、旧南循環線のルートと長岡駅から中央病院までのルートと循環線を二つに分けて運行するという案については、旧南循環線のルートは以前の形に戻り、以前と同様の赤字になりますし、長岡駅から東側のルートについては距離が短くなるので運行頻度が増えることになり、二つに分けて同じように循環運行すると、車両も2倍必要になりますので経費が現在よりも増えることも想定されます。</p> <p>一方折り返し運行にしますと、循環線ではなくなります。そのような状況において、今現在乗り越しをされる方が少なからずいらっしゃいますので、乗り換えが必要になる代わりに、乗継割引など利用者の利便性とそれに要する経費のバランスをどのように図るかが今後の課題となると考えています。</p> <p>運行内容の検討については、今後越後交通と協議していく必要があると考えています。</p>
委員	<p>アンケート結果の分析について、年齢の階層別の分析が必要になるのではないのでしょうか。学生や高齢者のそれぞれのニーズに応じた検討が見直しに当たって必要になると考えられます。</p>
委員	<p>今回のアンケート結果を受けて、平成24年にはバス停の利用状況の調査を実施して、どのバス停の利用が多く、また、どこが少ないのか調査を通じて見極めていきたいと考えています。その調査結果を受けて平成25年度には再編が大きくできるのか、今の循環線の利用状況を受けた経路変更だけとするのか、あるいは二つに分けるのか、今現在で結論を出すのは難しいですが、バス事業者としましても運行経費の削減や利用者の増加に向けて、市との協議を進め平成25年度には何らかの形に話を進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>アンケートでは、ルートを変えることによって何が違うのかが回答者に分かりにくく、答えづらかったのではないかと考えられます。その点を考慮すれば、今回のアンケート結果はあまり参考にならないのではないかと思います。路線バスと循環バスで何がどう変わるのかということを見える形で意見を聞ければよかったのではないかと思います。また、ルートとして、駅裏から長岡駅にきて中央病院に向かうルートや西の市役所方面から長岡駅にきて中央病院に向かうルートとするなど、長岡駅を必ずしも起点と終点にすることにこだわる必要はないと、私は思います。</p>
会長	<p>事務局にお聞きしますが、アンケートでは改善内容をどのようにお聞きしたのですか。</p>
事務局	<p>アンケートでは現在の南循環線の路線図を示して、変更の内容を文言で説明して、どのような運行が良いかご意見をいただきました。</p>

<p>会長</p>	<p>利用者の回答者数は34名で間違いありませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご回答いただいたのは34名です。</p>
<p>会長</p>	<p>その他にご意見等はございませんでしょうか、それでは南循環バスのアンケート結果について事務局の説明で了承いただけますでしょうか。 (議事(3)について事務局からの内容で承認を得る)</p>
<p>【議事】</p>	<p>議事(5)長岡市地域公共交通協議会の規約改正について</p> <p>資料4「長岡市地域公共交通協議会規約」から改正内容を事務局が説明</p>
<p>会長</p>	<p>市役所の移転に伴う規約改正となっております。規約改正についてご承認いただけますでしょうか。</p> <p><異議なし></p> <p>(議事(5)について規約改正について承認を得る)</p>